

平成27年5月14日(木)
国土交通省 関東地方整備局
高崎河川国道事務所
相武国道事務所
帝京大学
道の駅「甘楽」

記者発表資料

～道の駅「甘楽」^{かんら}と帝京大学との連携～
歩きたくなる城下町小幡^{おぼた}の実現に向けて連携企画します。

大学と「道の駅」の交流・連携の一環として、帝京大学と道の駅「甘楽」及び国道事務所の3者で連携企画型の実習を実施することになりました。

この取り組みは、将来の地域活性化の担い手となる人材を育成・確保するとともに、「道の駅」が地域活性化の拠点を目指して進化を遂げるため、「道の駅」と大学がお互いのニーズを確認し、付加価値を創出する企画・立案等を実施するものです。(詳細は別途資料参照)

【実施内容】歩きたくなる城下町小幡^{おぼた}の実現に向けて

- ・まち歩き体験プログラムづくり
- ・まち歩きフードメニューの開発 等

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ
八王子記者クラブ、立川市政記者クラブ、青梅・西多摩記者クラブ、相模原記者クラブ
刀水クラブ、テレビ記者会、高崎記者クラブ

問い合わせ先

●帝京大学 経済学部 観光経営学科
学科長 大下 茂 (おおしも しげる)
〒192-0395 東京都八王子市大塚359番地
TEL: 042-678-3519

●国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所
副所長 石浜 康賢 (いしはま やすまさ)
計画課長 大嶋 精一 (おおしま せいいち)
TEL: 042-643-2001 (代表)

●道の駅「甘楽 (かんら)」
(一財)甘楽町都市農村交流会
理事長 三木 純一 (みつ き じゅんいち)
〒370-2202 群馬県甘楽郡甘楽町大字小幡2014番地1
TEL: 0274-74-2660

●国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所
副所長 伏見 利行 (ふし み としゆき)
計画課長 関根 孝之 (せきね たかゆき)
TEL: 027-345-6000 (代表)

●甘楽町役場 産業課 道の駅係
課長 松井 均 (まつい ひとし)、
係長 高橋 功 (たかはし いさお)
〒370-2219 群馬県甘楽郡甘楽町大字小幡161番地1
TEL: 0274-74-3131 (代表)

道の駅「^{かんら}甘楽」と帝京大学経済学部観光経営学科の学生が連携して、まち歩き体験プログラムやフードメニューの開発を実施します。

①まち歩き体験プログラムづくり

- 道の駅を城下町小幡^{おぼた}のまち歩きの入口として位置付け、以下を実施
 - ・クイズ形式で謎解きをしながら観光拠点を巡りつつ、例えば城下での羽根つき等を各拠点で体験できる回遊プログラムの企画提案。
 - ・回遊プログラムを中心にまちの魅力を発信、提案する観光コンシェルジュの仕組みづくり企画提案。

城下町小幡^{おぼた}は小幡氏、織田氏が統治した小さな城下町です。



「^{らくせんえん}楽山園」は戦国武将の織田信長の次男^{のぶかつ}信雄が甘楽町小幡に城下町を築く際に造られた池泉回遊式の庭園です。



【道の駅甘楽 案内図】

②まち歩きフードメニューの開発

- 地元特産品や交流都市の食材等を活用したまち歩きのお供となるテイクアウト・アイテムを中心に、道の駅フードメニューの開発等を実施。



【道の駅甘楽 全景】

【帝京大学】

帝京大学経済学部観光経営学科を中心に学生約7名が道の駅甘楽を現地研究フィールドとする「道の駅検討チーム」として活動予定。

これまでに経済学部観光経営学科の大下教授は、甘楽町まちづくりアドバイザーとして「歩きたくなるまち『小幡』の実現に向けてをテーマに、甘楽町観光まちづくりプランに参画されています。

「^{かんら}かんらちゃん」は公募により募集し、甘楽町発足55周年記念の日に誕生しました

